

# OISCA in 四国

<http://www.oisca459.org/>

OISCA (OISCA) の意味

O...Organization (機構) I...Industrial (産業) S...Spiritual (精神) C...Cultural (文化) A...Advancement (促進)

# Vol. 6

2009年10月



日々、農業・洋裁・調理・見学など様々な研修に取り組んでいます



## contents

インドネシア・ロンボック島植林

### 継続は力なり・植林プロジェクトから得た成果

森を大切に思う気持ちは万国共通

### 「学校林・遊々の森」全国子どもサミットin四国

支局活動の紹介 三豊支局 香川東支局 徳島県支局 高知県支局 愛媛県支局

2008年度下半期—2009年度上半期のあゆみ

あなたも参加しませんか？ OISCAサポートの輪

## あなたも参加しませんか？ OISCAサポートの輪

国内外でアジア太平洋各国・地域の青少年をサポートする OISCAでは、会員やボランティアの皆様からのご支援、ご協力等を随時受け付けています。様々なかたちでご参加いただけます！

### 国際交流・研修

- 学校や各地域での国際交流活動の実績があります。

### 集めています！

- ベルマーク、ペットボトルキャップ、書き損じハガキは、OISCAの植林事業などに役立てられます。

### ボランティア体験

- 四国センターで調理や農業、日本語指導、国際協力等の様々な研修を体験できます。(日帰り、宿泊も可)
- 国内・海外での植林ボランティアに参加できます。
- 海外のOISCAセンターでのボランティアもあります。

### 無農薬農産物・平飼い有精卵・加工品

- 四国センターで採れた野菜・米・卵やジャム等の加工品をバザーで販売しています。(丸亀市「みたから市」、高松市「さぬきピオマーケット」など)

### OISCA会員になると...

- 海外・国内のセンターや支部支局の活動がよく分かる広報誌「OISCA」「四国だより」を毎月お届けします。
- OISCA主催の講演イベントやシンポジウム、研修生との交流イベントや海外視察、植林ボランティア等に優先的にご参加いただけます。
- 植林や環境、国際交流等のイベント企画・運営ができます。



クッキー作りを教えるボランティア



海外の子どもたちと共に農作業！



日本人形作りを伝授！



センターで農業と国際交流を体験！



研修生に日本語を教えています



野菜やジャムはいかがですか？

## 入会の手続き

入会申込書に諸事項をご記入の上、最寄のOISCA事務所にご送付ください。

会員種別	法人	個人	年会費
特別会員	100,000円以上	50,000円以上	年額
	40,000円	20,000円	
維持会員	40,000円	20,000円	年額1口
	20,000円		

ご希望により、月額2,000円 会員募集中

24,000円/年  
毎月自動引き落としが可能  
(クレジットカード、銀行、郵便局口座)

税法上の優遇措置

いずれの場合もOISCAに対する寄付金、会費の税控除が適用されます。ご送付いたします領収書を確定申告時、法人(企業)では、決算時の税務申告にご活用ください。

## お問い合わせ先

■ 四国支部	〒760-0023 高松市寿町1-3-2 第一生命ビル5F	☎ (087) 821-1503
◆ 高松支局	〒760-0023 高松市寿町1-3-2 第一生命ビル5F	☎ (087) 821-1503
◆ 坂出支局	〒762-0011 坂出市江尻町1721-10 (榑石井内)	☎ (0877) 45-0141
◆ 三豊支局	〒769-1502 三豊市豊中町笠田笠岡3915-3 (榑イナダ内)	☎ (0875) 56-6001
◆ 香川東支局	〒769-2304 さぬき市昭和5806 高松東ファクトリーパーク(さぬき市管理組合内)	☎ (0879) 52-5070
◆ 中讃支局	〒763-0034 丸亀市大手町3丁目2-1 (四国電力丸亀営業所内)	☎ (0877) 22-5973
◆ 綾川支局	〒761-2103 綾歌郡綾川町陶5179-1	☎ (087) 876-3333
◆ 徳島県支局	〒770-8555 徳島市寺島本町東2-29 (四国電力徳島支店総務課内)	☎ (090) 3181-0158
◆ 愛媛県支局	〒790-0925 松山市鷹子町588-3 (東予産業内)	☎ (089) 970-3100 <a href="http://www.oisca-ehime.com">http://www.oisca-ehime.com</a> E-mail lovegreen@oisca-ehime.com
◆ 高知県支局	〒780-0870 高知市本町1-6-24 (高知商工会議所総務部内)	☎ (088) 875-1177
■ 四国研修センター	〒761-2103 綾歌郡綾川町陶5179-1 <a href="http://www.oisca459.org/">http://www.oisca459.org/</a> E-mail oiscastc@mx8.tiki.ne.jp	☎ (087) 876-3333

## 編集後記

四国で初めて夏を過ごしましたが、会員の皆様や地域の方などOISCAに関わる様々な方々の熱気がOISCA活動の原動力である、ということを感じました。研修生たちが「日本のボランティアは素晴らしいです。」とよく話してくれますが、私も同感です。(う)  
編集を担当させていただき、改めて研修内容の多さ、濃さを実感しています。写真を選んだり文章を校正したり…わずか数ページの中ですが、研修・研修生の魅力を少しでもお届けできていますように。(む)



# 「オイスカ四国支部主催」第2期第6年目 ロンボック島植林ツアーが終了

## 継続は力なり 「植林プロジェクトで 得た成果」



植林風景

### ■インドネシア・ロンボック植林の歩み

	年	植樹数(本)	植樹面積 (ha)
第1回	平成11年	3,000	5.5
第2回	平成12年	3,500	3.5
第3回	平成13年	4,800	10
第4回	平成15年	150	
第5回	平成16年	1,000	10.5
第6回	平成17年	1,500	5
第7回	平成18年	10,000	20
第8回	平成19年	10,000	10
第9回	平成21年	10,000	10

日本では新型インフル  
エンザの影響で、参加者が  
本当に集まるのだろうか、  
と不安を抱えての参加者  
を募集の中、「緑豊かな環  
境を作りたい!」と、植林への熱い思い  
をもった28名が参加し、7月22日〜26  
日、インドネシアロンボック島での植林  
が開催されました。ロンボック島は、有  
名なバリ島の東50kmに位置した美しい  
海と豊かな緑に囲まれた島です。しかし  
そのような美しい島にも、森林の乱伐と



いう現状があり、私たち四国支部では長年に亘り植林  
プロジェクトを続けてきました。9回目の今年も、  
619名の地域の方々と一緒に、マホガニー、センゴン  
を10ha、計10,000本の植林を終えました。

### 人を育てたロンボック島植林

インドネシアロンボック島植林の目的は、地域の  
学校を巻き込み、子供達、その親や地域の大人と共に  
木を植える「子供の森」作りです。

平成11年から始まったロンボック島の植林は今回  
で9回目。植林本数は補植を含めると66,336本  
となり、8回までの活着状態(苗木の根がしっかりと  
根付いた状態は約70%と極めて高い水準を保って  
います。しかしながら、「活着状態70%という数字の  
素晴らしいは、この植林の行われている時期が、降水  
量が月30mm以下と、東京160mmの1/5以下でしか  
ない極端に雨の少ない乾季の時期であることに加



寄贈した教室での交流(上)サッカーボールなどを寄贈しました(下)

年)です。これは、ロンボック島の植林  
支援に加え、オイスカインドネシアの  
日頃の地元住民に対する細やかで継  
続的なモニタリングがあったからこ  
そ、地域のニーズを掴み、信頼関係が  
生まれ、効果的な支援に結びついた成  
果とも言えます。

特に2007年に施工された「オ  
イスカ四国橋」。橋は長さ14m、幅は  
たったの1.5mしかありませんが、地  
域に与えた影響は大きいものでし  
た。オイスカインドネシア開発団の  
吉永氏によれば、施工以来大変住民  
の方々に喜ばれており、なんと、農家  
の方の収入が10倍になったそう

え、水道もなく、川の水を汲んで山まで運びながら水  
やりをしなければならぬ厳しい環境で管理し続け  
てのことなのだということを考えると、まさに地域  
住民の苦勞努力の素晴らしさでもあるのです。  
つまり住民を巻き込み、その意識も行動も、「次世  
代の子供たちへの環境作り、森作りへ」と変えてきた  
ことが、地域での大きな成果であり、木と共に人も育  
てた植林といえるでしょう。

### 経済効果10倍を生み出した 「オイスカ四国橋」

もう一つの成果は、植林活動がきっかけとなり、坂  
出白峰ライオンズクラブ40周年記念事業支援により  
建設されたレバセンパガ第一小学校の教室(2005  
年)と、オイスカ高松支局吉川正仁会員のご寄附に四  
国支部が一部補足して施工された四国橋(2007

す。その理由は、バイクでバナナなどの果物を村から  
町の市場まで何度も持ち運  
びができるためです。これ  
までは川を歩いて渡るた  
め、1日1回少しの量を運  
び、そして売るのが限界で  
した。しかし橋ができたお  
かげで、大量に、しかも1日  
何回も往復が可能になった  
だけでなく、バイクで荷を  
運ぶ仕事も増え、新しい雇  
用が生み出されるという大  
変大きな経済効果がありま  
した。



寄贈した教室の前で久々の再会!



たこのロンボック島植林は、少しずつ現地の人々の  
意識と行動を変え、経済的な効果を生み出すことが  
できただけでなく、支援する側の私たちも、人々のも  
つ可能性や信頼関係という絆の尊さに感動し、そし  
て「継続は力なり」という言葉に裏付けされた自信と  
勇気をもろう  
ことができま  
した。

日本とイン  
ドネシアに植  
えられた「心  
の苗」も、しっ  
かりと根付い  
て育っている  
ようです。



# 「学校林・遊々の森」 全国子どもサミットin四国



緊張しながらも、一生命発表してくれました



キャンプファイヤー

森林体験学習(木の大きさを体験してみよう)



「森のつみ木広場」



(そーっと、そーっと…紙漉き) 楮、みつまたに限らず最近ではペットボトルの再利用から作る紙などいろいろな原料で紙を作ることができるそうです。

「学校林・遊々の森」全国子どもサミットは、(財)オイスカと林野庁、(社)国土緑化推進機構などによる実行委員会の主催で、子どもたちが森林や林業を学び、体験する活動の場を広げていこうと開かれたものです。第1回目は東京都八王子市で、第2回目は熊本県熊本市で行われ、この度第3回目を高知県香美市「香北青少年の家」において開催となり、四国の小学校9校、兵庫県、山形県の2校、オイスカ四国研修センターからも8名の研修生、そして70名ほどの一般参加者を加えた総勢150名が参加しました。

一日目は学校林や遊々の森の活動に取り組む学校の子どもたちが、「植林体験、間伐・枝打ち体験、学校版ISO目標の設定、河川クリーン作戦、絶滅危惧動植物の観察活動、野外活動」などの幅広い活動について

がタイ・フィリピンの環境問題を発表したキャンプファイヤーなどの交流も行われました。

二日目には、森林体験学習として、3つのグループに分かれ、五感をフルに使いながら森を体験する「野外ゲーム&フォレストウォーク」、木を削るところから始める手作り鉛筆や壁掛け作りの「木工クラフト」、伝統的な製法で思い思いの葉書を作る「紙漉き」をそれぞれ体験しました。

参加したフィリピン研修生は、「今回の森林体験学習の野外ゲームで、木がどれぐらいのCO<sub>2</sub>を吸収しているかを測りました。木の役割がよく分かるので、是非フィリピンで紹介したいです。」と話してくれました。

その他、先生方による活動の問題点や意見交換、間伐材でできたつみ木から森の大切さを学ぶ「森のつみ木広場」、オイスカ研修生

## 三豊支局

### 小学校の卒業記念植樹が グリーンウェーブ活動に 発展

一の谷青少年育成会主催で、一の谷小学校(観音寺市)6年生51名により、30年間続く卒業記念植樹が2月19日に実施されました。この植樹の趣旨に賛同した三豊支局は、ロータリークラブと連携を取り、一の谷小学校の子どもたち・一の谷野山保全委員会の皆さんの輪に加わり、総勢110名による共同植林となりました。現地は、かなりの勾配がありましたが、しっかりと苗木を植えることができました。

その後5月13日に、「グリーンウェーブ」\*活動の一環として、2月19日に植林した場所で、一の谷野山保全委員会の皆さんと植林地の育成状況調査をしました。当日は根が浮いて水の吸収が悪い苗木の周辺を踏み込



大きな森に育ってね

んだり、成長の悪い苗木がないか確認をしたりしました。

また、子どもたちが植えた小さな苗木がしっかりと育つよう、一の谷野山保全委員会の皆さんの協力により下草刈や枝打ちなどが続けられています。すくすくと成長し、子どもたちが大人になったころには、立派なふるさとの森になることでしょう。

\*「グリーンウェーブ」とは  
国連では毎年5月22日を「国際生物多様性の日」と定めていることから、世界各地で現地時間午前10時に緑化活動を行うことよって青少年に生物多様性の保全と持続的利用の促進を図る地球規模の活動です。日が昇る順番に地球上を東から西へ順次、波のように活動が広がる様子を「グリーンウェーブ」と表現しています。

## 香川東支局

### マレーシア 米の増産を夢みて



米栽培の様子

現地で研修に励む青年たちを激励すると共に、四国研修センターで学んだOBとの交流を行うべく、篤農家を含めたオイスカ会員の有志が



テノムセンターで研修に励む研修生

2008年〜2009年に渡り計3回オイスカ・テノム研修センターを訪れました。

このような機会を通して、(1)日本のお米の収量は1反500kgであるのに対し、現地では150kg程度と、低収量であり低収入、(2)農業技術を学んだ研修生OBがその技術を生かせる機会が少ない、などの現地の課題も明らかになってきています。

もちろん、一朝一夕に解決出来る簡単な問題ではありませんが、香川東支局として、高値での販売が期待できる日本米の栽培テストを始めるなど、まずは出来ることから試行的に開始しています。道のりは長いですが、OB達と共に夢を追い続けていきたいと思います。



## 徳島県支局

### 阿波踊りに 四国研修センター研修生を 招待



徳島県支局は毎年、女性部とともに、研修生を阿波踊りに招待しています。



踊りは～！オイスカ！！

今年も8月15日(土)、会員企業である四国電力のよんでんグループ連に参加しました。当日は午後3時に四国電力徳島支店へ研修センターから28名集合、踊りの練習開始です。右手、右足を同時に出す、阿波踊りの2拍子のリズムや音楽は、真似て踊るだけでも、楽しくなってしまう踊りです。ましてや、ダンスの大好きな研修生のこと、みんなすぐ慣れて楽しそうに踊りだしました。

練習、軽食、休憩後、5時半から本番です。四国電力徳島支店前の駐車場に開設した踊り広場でまず肩慣らし。しかし、研修生はまだ、本番の演舞場の観衆や熱気を知りません。そして、いよいよ徳島市内演舞場で演舞。大勢の観衆が見守る中、初めは圧倒されるものの、熱気や盛り上がり、彼らのテンションも最高潮に達します。「踊りは！」「オイスカ！」の掛け声も大きく響き、楽しく踊り終えました。演舞場からの帰り道でも、道路で演舞中の市内の連と一緒に踊らせてもらうなど、徳島の阿波踊りを満喫させていただきました。

## 愛媛県支局

### チベットの子供達に教育を！ バイマーヤンジンさん 講演会



バイマーヤンジンさん

オイスカ愛媛県支局では、年間を通じ、植林や竹林整備などの環境保全活動、チャリティゴルフ、総会、愛媛のつどいなどの普及啓発活動、「森のつみ木広場」などの環境教育などを実施し多くの参加者にオイスカの理解を深めると共に交流の場を作り上げています。

また「国際協力推進『愛媛の集い』」においては、今年チベット人声楽家バイマーヤンジンさんによる講演「子供たちの未来のために」でした。

バイマーヤンジンさんのお母さんは、教育を受けられず字も読めず育てたため、子どもには教育を受けさせたいと、強い決心と努力でバイマーヤンジンさんを育てました。そ

のようにして恵まれた環境で育ったバイマーヤンジンさんは、中国の国立四川音楽大学でオペラを学び日本人と結婚し、声楽家として活躍します。しかし、国際理解教育などで日本の子どもたちと関わるうちに、教育が人の生活、ひいてはその国の未来にも大きく関わるほど重要だ、この思いを強くし、チベットの子どもたちが小学校に通える環境を作る活動をされるようになりました。

バイマーヤンジンさんのユーモアあふれるお話と美しい歌声、そして教育にかける熱い思いが、来場された140人の方の心を大きく揺さぶり、「ふるさと」を思う心と教育の大切さを、また新たに感じさせていました。

## 2008年度下半期～2009年度上半期のあゆみ

### 2008年度 下半期

10月	7日	四国支部主催「四国の集い in 香川」(中野総裁、廣瀬常務理事、他450名)
	27日	直島中学校と研修生が交流(約100名)
	30日	伊方発電所を研修生が見学(32名)
11月	11～14日	研修旅行 全研修生が参加(京都・兵庫・滋賀・愛知・静岡・東京)
	16日	四国支部主催「山・林・SUN」植林(250名)(香川・直島町)
	28日	広島県原爆資料館を研修生が見学
12月	8日	オイスカ研修修了式(センターにて)
1月	22～25日	JICA農村女性のための生活改善と村づくりコース研修生14名入所
2月	3日	オイスカ入所式(センターにて)
	5日	表敬訪問(香川県・JICA四国支部)
	6日	表敬訪問(綾川町)
	22日	綾川町綱引き大会に研修生が参加
3月	8日	香川女性部主催の新研修生歓迎会(高松市)
	28日	四国研修センター41周年記念行事(約30名)(冠纒神社・高松市)

### 2009年度 上半期

4月	28日	基礎研修修了式(センターにて)
	16～17日	「富士山の森づくり」に研修生が参加(山梨・鳴沢村、795名)
5月	27日	徳島女性部総会
	29日	中讃支局総会
6月	5日	坂出支局総会
	12日	徳島県支局総会
	24日	高松支局総会
	27日	香川東支局総会(センターにて)
7月	29日	愛媛県支局総会
	9日	三豊支局総会
8月	10日	委託研修修了式(センターにて)
	14日	高知県支局総会
	18日	オイスカふるさと祭りを開催(センターにて)
	20～25日	生活改善研修生がホームステイを体験
	22日	四国支部主催、インドネシア・ロンボック島植林(～8月2日)(619名)
9月	2～3日	「『学校林・遊々の森』全国子どもサミットin 四国」参加(110名)(高知・香美市)
	15日	徳島県支局の招待にて阿波踊りに参加
9月	20日	綾川町陶校区運動会に研修生が参加
	27日	四国電力労働組合運動会に研修生が参加

## 高知県支局

### 夏休みふれあい親子 木工教室&「森のつみ木 広場」



何をしようかな～

森のお話  
みんな興味津々

四国森林管理局との共催で8月17日(月)実施された「親子木工教室&森のつみ木広場」。当日は、小学生の親子18組43名(児童25名)が参加、オイスカ四国研修センターのスタッフと海外研修生2名が参加し、間伐材を使った「木のおもちゃ作り」と「森のつみ木広場」を行いました。

「森のつみ木広場」は赤い絨毯の上で寝転んでいる子供達へのつみ木シャワーから始まりました。最初は何をしようかと悩んでいる様子の子供達でしたが徐々に思い思いのつみ木遊びに集中し、電子ゲームにはない楽しさを体験してもらいました。

まとめの「森の話」では子供達が、スタッフの元へと我先にと近寄って(感激！)つみ木が森の間伐材からできていること、間伐は森を生かすための大切な作業であること、そして、森が生きていくことは地球温暖化防止に繋がるとの説明に真剣に聞き入ってくれました。(またまた感激！)

今回の「森のつみ木広場」は、子供達に森林の重要性や地球温暖化防止について関心を持つことの必要性を知ってもらうとともにオイスカ活動への理解促進に大きな効果がありました。高知県支局と四国研修センターでは今後とも、各種イベントや学校での総合学習の時間を活用した「森のつみ木広場」の実施について各方面にPRしていきたいと考えています。

参加していただいた子供達、二期も元気に頑張れ！